令和２年度　東大和市立第五中学校　　授業改善推進プラン　　教科名　**美術科**　授業担当者　未至磨

美術科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて
【思考・判断・技能】 自分のイメージをもとに、ふさわしい方法で工夫し表現する力を身に付けさせる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（２月）
第１学年	○思考力・判断力・表現力 ・既成のイメージにとらわれやすい。 ・表現に必要な技能が不足している。	・ワークシートによる発想のトレーニング ・用具の扱い、表現方法の支援（板書や演示）	・単元ごと ・単元ごと	
第２学年	○思考力・判断力・表現力 ・イメージを表すための表現技能（スケッチなど）が不足している。	・ワークシートによるアイデアスケッチ ・板書や演示の工夫 ・ペアやグループによる学び合い	・単元ごと ・単元ごと	
第３学年	○思考力・判断力・表現力 ・自分のイメージを表現する技能が既習内容のみに偏ってしまう。	・表現技能の紹介、習得（板書や演示） ・ペアやグループによる学び合い	・単元ごと	

■主体的・対話的で深い学びに関連して
１年　イメージについての話し合い（個人、ペア）
２年　イメージに相応しい技能の開発、話し合い（グループ活動）
３年　イメージと技法の関係についての話し合い（グループ活動）

■小中一貫教育共通プログラムに関連して
１年　授業規律の確立・維持　一斉指導と個別指導の充実
２年　授業規律の確立・維持　一斉指導と個別指導の充実
３年　授業規律の確立・維持　一斉指導と個別指導の充実